



ふれあい

赤い羽根共同募金のお願い



毎年10月1日から始まる「赤い羽根共同募金運動」は「地域福祉の推進のための募金」として社会福祉法で定められた募金活動です。戦後、復興の一助として戦争孤児など生活困窮者の支援に充てられ、昭和30年代は民間社会福祉施設の増改築、40年代は子どもの遊び場整備と、その時代の要望に応えられる仕組みづくりを行つてきました。

今年、70回目の運動を迎えます。これからも赤い羽根共同募金は、地域の支え合いを基本に、地域の要望に応えられる活用をさせていただきますので、今後もより一層皆さまのご理解とご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

※なお、募金の一部は「災害等準備金」として積み立てられ、大規模災害時の支援に役立てられています。

さくらの保育園、ひがしね保育園と合同で東京から人形劇団を招き、「ふしげの国のアリス」の人形劇鑑賞を行ないました。本物にふれることは、子ども達の感性を豊かに育むことにつながります。これからもこのような取り組みを続けていきたいと思います。

愛真こども園、よつばこども園も共同募金を活用

共同募金を使わせていただき、ありがとうございます (一部紹介)



荒砥駅前広場

太鼓橋の錆をとり、ペンキの塗り替えをしました。白鷹町の玄関口として来訪者をお迎えします。



貝生子ども広場（荒砥）

ブランコの座板と鎖が新しくなり、より安全に使うことができるようになりました。



この広報誌には、赤い羽根共同募金の配分金が使われております。

白鷹町社会福祉協議会会費並びに 賛助会費にご協力ありがとうございました

社協会費は、一般会費として三、九三七世帯、また賛助会費は五十六企業からのご協力をいただきました。皆さまからいただきました会費は、貴重な財源として、高齢者や子ども、障がいのある方などに対する様々な福祉活動として大切に活用させていただきます。

一般会費

蚕桑地区	九一〇、八〇〇円
鮎貝地区	一、〇一四、〇〇〇円
荒砥地区	一、一〇八、八〇〇円
十王地区	四一二、八〇〇円
鷹山地区	四一六、四〇〇円
東根地区	八六一、六〇〇円
合 計	四、七二四、四〇〇円

賛助会費

(敬称略・順不同)

〔一万円〕

多田医院・(株)佐藤燃料店・しらたか調剤薬局・(有)丸川畜産
みゆき整形外科クリニック・(有)三和製作所・須貝接骨院・
丸ト建設(株)・(株)ニクニ白鷹・佐藤製作所・加藤精肉店・
(株)鈴木工務店・医社団仁鷹会新野医院・(有)小口自動車整備
工場・大伸建設(株)・横澤医院

〔三万円〕

(有)ナカヤマ製作所

合 計 三万円

〔五千円〕

(有)海老名教材・ヤマシチ鈴木商店・スガマ製作所・(株)ヤマ
クラフレーズ白鷹営業所・石田電子・(株)白鷹工場・鈴木米穀店・
(株)マルヤス・花菱縫製・(株)白鷹工場・ひぐち・(有)松下商店

〔三千円〕

(株)ヘルズしらたか・山形中央信用組合荒砥支店・高橋茶舗・
清水屋酒店

合 計 三千円

〔一千円〕

のどか村・(株)きらやか銀行荒砥支店・(有)吉村製作所・JA
山形おきたま農業協同組合・(株)山形銀行荒砥支店

合 計 一千円

平成 28 年度会費の使い道

平成 28 年度会費 4,779,600 円は、次のように使わせていただきました。

- | | |
|-------------------------|-------------|
| ○法人運営事業（事務費等） | 3,555,600 円 |
| ○福祉活動事業（配食サービス、ボランティア等） | 1,140,000 円 |
| ○まちづくり推進事業（いきいきサロン） | 450,000 円 |



各事業紹介

介護職員初任者研修



5月2日か

ら開講した介

護職員初任者

研修も、10月

27日の修了式

まで、残り4

回の講習を受

けるのみとな

りました。

これまで、

高齢者等の人

権と尊厳や自

立を支える知識を学んできました。終盤に

なると、座学から身体を使つた研修内容と

なり、介護者として技術的な基本の支援方

法を繰り返し行つています。

この日は、理学療法士の金田先生から「移動・移乗に関連したこころとからだのしくみ」を理解するため、車いすを使つた移動や車いすからベットに移乗する際の留意点や技術を学びました。

介護者と介護される側と体験しました。段差がある所では思うように車いすを操作することが難しく、また段差を超える時は、介護される側の身体が斜めになるため、場面、場面の声かけが大切であることも体験から学ぶことができました。

修了式まで、もう少しです。一つ、一つ、基本的に知識と技術を学び、介護職員として地域住民の一助となつていただきたいです。

高齢者等の買い物を少しでも支援していくため、8月8日（火）福祉バスを利用してながら、「お買物ツアーバス」を実施しました。



3月の春彼岸に試験的に実施しましたが、参加された方から「またしてほしい」「自分で見て買えるといいね」などの声をいただいたため、今年度はお盆、年末、春彼岸と3回の実施をしていきます。

特に、交通手段が不便な西高玉などの川西地区と杉沢などの川東地区にバスを運行し、スピカ（共同募金箱設置協力店）で自由に買い物をし

県知事感謝状（老人福祉功労者）



橋本千鶴子 新野弘子 向田てい子



次回の買い物ツアーバスは、12月19日（火）と平成30年3月13日（火）に開催します。各サロンを通じてご案内していきます。

8月30日（水）、シエルターなんようホールにおいて、第52回山形県老人福祉大会が開催されました。老人福祉に貢献があつたとして、本会職員が受賞しました。

て帰つてきています。まだ利用者は数名ですが、普段の買い物にプラスして、ぜひご利用ください。

ボランティア情報発信

白鷹町ボランティアセンター(白鷹町社会福祉協議会内)☎86-0150



あたたかいご寄付ありがとうございました。

【善意銀行へ】(H29.2月～9月まで)

☆預託	子育て支援センターにこぽーとフリーマーケット売上金一部 小松よし子様 手編みの小物入れ ナウエル典礼ナウエルホール白鷹様 10周年感謝祭につき募金箱 小川クリーニング店様 技術提供 松野清志様 小関忠藏様 迎田公一様 匿名 衛生用品	3,100円
★払出	各地区サロン 申請9ヵ所分の備品購入費260,000円 ひとり暮らし高齢者世帯 毛布クリーニング10枚 訪問介護事業所へ 手編みの小物入れ、衛生用品	30,000円



【さくらの保育園へ】

鈴木 重治様	さくらんぼ狩り招待
(有)どりいむ農園様	いちご狩り招待
横山 聰様	とうもろこし 今トミ子様
片倉 健一様	すいか 安部マチ子様

ナウエル典礼
ナウエルホール白鷹様

古切手のご協力感謝申し上げます

(H29.6.14～9.11までの分)

奥山 正雄様
山田 道様

大木 せつ様

関 蒼大様

新輝産業株式会社様
丸ト建設株式会社様
株式会社クリーン総業様
(医)社団仁鷹会新野医院様
白鷹町役場企画政策課様

鮎貝八幡宮様
有限会社佐藤製作所様
花菱縫製(株)白鷹工場様
多田医院様
匿名6名

共栄建運株式会社様
株式会社えびな菓子舗様
株式会社尚古堂様
白鷹町役場健康福祉課様

古切手の種類と切り方

- どんな切手でもOK! (日本・外国・記念切手)
- 古切手のまわり1cmを残しハサミをいれます。
- 社会福祉協議会にお届けください。 (白鷹町健康センター内)

除雪ボランティアを募集します!

■募集期間

12月1日～平成30年
3月上旬まで (随時募集)

■募集対象

個人及び企業・団体・
学校(グループ単位)など

◇活動内容

自力で除雪が困難、家族や親類及び町内からの協力が得られない要援護者世帯への除雪活動

■作業内容

人力による出入り口の拡幅・屋根からの落雪・住宅周りの除雪作業
(窓の確保、軒下の確保等)

※基本として屋根の雪下ろしは行いませんが、活動いたたくボランティアの希望を尊重します。

■活動時間 おおよそ一日2時間程度

12月下旬から3月上旬の間で、特に降雪、積雪が多い状況時に、民生委員と相談して活動を予定します。
(活動日は、別途事務局から連絡)
ただし、降雪・積雪状況、ボランティア登録状況などにより活動の機会がない場合もありますのでご了承をお願いします。

平成29年度活動予定日
1月20日、27日(高校生ボランティア)



6月29日(木)中央公民館において、高校生ボランティアサークルあさがおの会員が高齢者等疑似体験を行ないました。

最初に、ボランティアの意味や高齢者等の身体や心理について学んだ後、実際に聴覚の変化、老人性難聴の体験ができるイヤーディフェンダー、老人性白内障を体験できるゴーグルなど疑似体験用具を身につけ、普段の生活との違いについて体験しました。

ゴーグルを装着すると新聞に目を通しても

ぼやけて見える、相手が話す言葉が、こもつて聞こえる、手袋をはめて新聞をめくると思う

ようにめくれないと、普段でている何気ない日常生活が加齢に伴い困難になっていく

ことを理解しました。

高齢者等疑似体験から、相手を理解するためには、相手と同じ目線に立ち、思いやり、気遣う声がけができるようになります。

職員研修と町総合防災訓練

8月29日(火)さくらの保育園において、災害ボランティアセンター設置訓練を実施しました。42名の職員が参加し、災害ボランティアセンターで最も基本となる3つの班(ボランティア受付班、マッチング班、資材班)について研修しました。班の役割について説明を受けた後、スタッフ側とボランティア側を体験して、班の流れを理解しました。



8月29日(火)さくらの保育園において、災害ボランティアセンター設置訓練を実施しました。42名の職員が参加し、災害ボランティアセンターで最も基本となる3つの班(ボランティア受付班、マッチング班、資材班)について研修しました。班の役割について説明を受けた後、スタッフ側とボランティア側を体験して、班の流れを理解しました。

運営方法を考え取り組む研修となりました。実際の災害ボランティアセンターで活動を経験した職員は数少ないですが、いつ起ころかわからない災害に対応して、職員全員が対応できるように繰り返し研修を重ねていきたいと考えています。

10月15日(日)、旧鷹山小学校グランドを会場に、午前9時から町総合防災訓練が開催されます。地域住民の方に災害ボランティアセンターがどのような活動を行うのか知つていただく良い機会となりますので、ぜひ会場に足を運んでください。

各種ボランティアを募集します

地域や施設で、踊りや歌、楽器演奏などで活躍されている皆さんの活動の場所を広げてみませんか。

お仕事や趣味活動で培われたことを、地域のサロンや自立のデイサービス、施設などで活かしてみましょう。

何かしてみたいけど、どうすればよいかとお悩みの方、また、こんな活動を紹介してみたいと思っているグループなど、あなたの協力ををお待ちしています。また活動を社協だよりで紹介したい、知つてほしいという方もお待ちしています。

ご希望の方は、白鷹町ボランティアセンターにお問い合わせください。

2回目の職員研修となつた9月12日(火)は、班の役割と災害ボランティアセンターの流れを確認し、実際に運営をしていく研修を行ないました。2班に分かれ、それぞれが運営していくための準備用品、設置のレイアウト、

各種相談窓口のご案内～困った時は迷わず、すぐにご相談ください。

福祉サービス利用援助事業 ☎0238-86-0150

認知症高齢者や知的障がい、精神障がいのある方などで、福祉サービスを利用したいけど手続きが分からぬ方、お金の管理や引き出しが出来ないなど、日常生活に不安がある方へのお手伝いをしています。

- 【支援内容】 ○福祉サービス利用のお手伝い ○日常的な金銭の出し入れのお手伝い
○大切な書類等の預り

※詳しい内容をお知りになりたい方、ご相談は社会福祉協議会までお問い合わせください。

成年後見制度に関する相談日

「成年後見制度」は、認知症の高齢者や障がいのある方の財産管理、生活に必要な福祉サービスなどの調整、本人に代わり法律行為や契約を行う、騙されたり誤った契約を取り消しすることができる、このような支援を行い認知症の高齢者や障がいのある方を保護していく制度です。

認知症のご両親や障がいを持つ子どもの財産管理、身寄りのない方の財産管理、遺言、相続、介護保険・施設入所など、ご相談することができます。

※事前予約が必要です。

予 約 : ☎023-615-6565 (電話相談も可能)

開催日時：毎月第3木曜日

午後1時から4時まで

場 所：山形県社会福祉士会 事務局

山形市小白川町2-3-31

山形県総合社会福祉センター3階

生活困窮などに関する相談窓口

仕事のこと

- ・仕事が続かない
- ・仕事が見つからない
- ・働く意欲はあるが自信がない
- など

生活のこと

- ・社会にでるのが怖い
- ・今日食べる物がない
- など

お金のこと

- ・家計のことで悩んでいる
- ・家賃や公共料金の滞納がある
- ・収入と支出のバランスが崩れている
- など

健康のこと

- ・重い病気になってしまった
- ・こころの病気で働きなくなったり
- ・入院費用の支払いなどが不安
- など

西置賜地域生活自立支援センター ☎86-0150

場 所 白鷹町健康福祉センター内

相 談 日 月曜日～金曜日(祝日を除く)

受付時間 午前8時30分から午後5時15分

相談方法 事前予約をお願いします。

- 加入手続き 隨時申し込みができます。
- 保険料 基本タイプ300円から
- 補償期間 申込み完了の次の日から補償が始まり、平成30年3月31日午後12時まで

あなたのボランティア活動を支える保険です。個人、グループなどのボランティア活動中の様々な事故によるケガや賠償責任を補償します。

ボランティア活動保険の紹介

お問合せ先：東北財務局山形財務事務所理財課
電話番号は、事前予約と同じです。
予約受付締切 10月26日(木)
午後4時30分までお電話下さい。

相談会場 山形県置賜総合支庁 会議室
(米沢市金池7-1-50 無料駐車場有)

相談日時 平成29年10月30日(月)

午前10時から午後4時まで

返しきれない借金、生活資金不足、震災により避難されている方の悩みなどを弁護士が相談に応じます。また、借金のことで眠れない、イラライラする、毎日気分が落ち込むなど心の相談を保健師が相談に応じます。

「借金」と「心」の巡回無料・法律相談会

※詳しい保険内容は、白鷹町ボランティアセンターにお問い合わせください。☎86-0150